

Title	研究ワークショップ ふれあい・ことば・あそび実施結果：アンケート集計結果の概要（総合研究所 News 聖学院大学総合研究所【子どもの人格形成と絵本】研究プロジェクト 子どもの育ちと絵本研究会）
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.25No.1, 2015.9 :61-63
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=5425
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

聖学院大学総合研究所
【子どもの人格形成と絵本】研究プロジェクト
子どもの育ちと絵本研究会
研究ワークショップ
ふれあい・ことば・あそび
実施結果-アンケート集計結果の概要

子どもたちといっしょに絵本を読んでいると、ことばや絵の感じと声のリズムが合ってきて自然にからだも動いてきて、楽しくなってきます。

詩人の谷川俊太郎さんの作品にはことばのおもしろさがあって、子どももおとなも共に楽しむことができます。その楽しさは、からだの感覚に直接むすびついていることばにあるようです。

今年も、舞踊家 加藤みや子先生をお招きして、からだじゅうで絵本をよむワークショップを開きます。

ことばとからだが自然につながっていくことを、
実感しましょう。

日時：2015年6月6日（土） 10：40～12：00

場所：聖学院大学体育館

【プログラム】

はじめのことば

ワーク1『あたしのあ あなたのア』より

ワーク2『せんはうたう』より

講師

加藤 みや子（加藤みや子ダンススペース主催、
（社）現代舞踏協会理事）

アシスタント

立花 あさみ

畦地 真奈加

上村 有紀

ふりかえり

おわりのことば

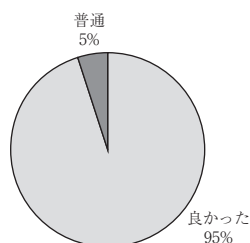
司会

寺崎 恵子（聖学院大学人間福祉学部児童学科准
教授）

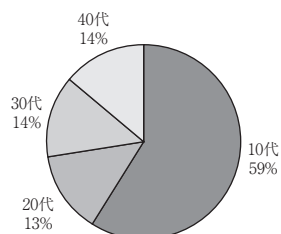
【結果の概要】

- ・参加者は61名。内、アンケート回答者は22名。
- ・参加者の年齢は、「10代」が59%と最も多かった。
性別は「女性」76%「男性」24%。
- ・ワークショップについて、「良かった」という意見が93%と高い評価を得た。
- ・自由意見として、「今後の勉強になった」「色々刺激を受けた」「楽しかった」など。

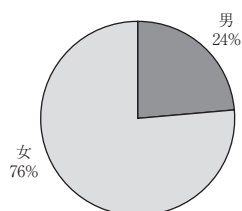
ワークショップについて



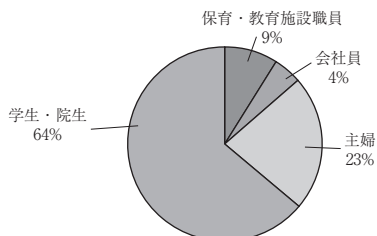
年齢

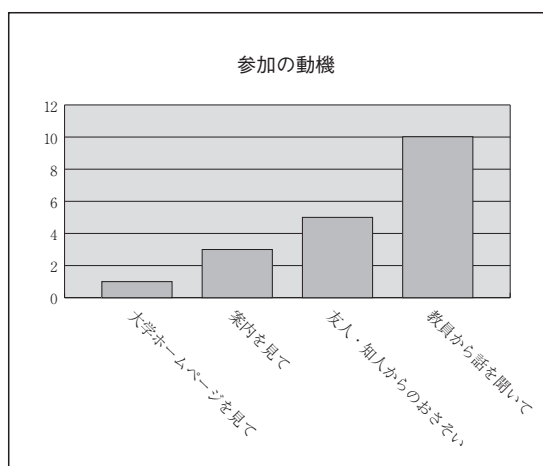


性別



職業





したいです。

- ・今後の勉強になりました。ありがとうございました。

今後の講演会・研修会などについて

- ・出来れば土日の開催ですと参加しやすいです。
- ・また、大きな紙に絵を描くようなものがやりたいです。
- ・おもちゃを作るような講演会がやりたいです。
- ・今回のワークショップをこれからも続けていただければと思います。

自由意見

- ・楽しくワークショップに参加することが出来ました。詩を表現することがとても楽しく、色々な表現があったので良い体験が出来ました。
- ・初参加でしたので、とても新鮮でした。子どもがこれから大きくなるにつれて色々興味がでくるので経験させてあげたいと思いました。
- ・詩とダンスとアート、という内容に、「どんなことをするのか？」とワクワクしながら参加しました。不思議な、でも色々な刺激を受けたワークショップでした。ありがとうございました。
- ・まだ子供たち（3才）が、やらされている感があるので、いつか子どもたちが自分の動きをみせてくれるのを楽しみにしています。そのためにもこういう場があるととてもうれしいです。
- ・音と身体をつかって表現を自由にするということが、簡単そうで難しいことがわかりました。子どもたちに動き回る（表現）をもっと体験させたいと感じました。
- ・初めて参加させていただきましたが、とても楽しかったです。また機会がありましたら、参加